

平成29年度
事業報告書

社会福祉法人うつみね福社会
ほたるの里

特別養護老人ホームほたるの里 平成29年度 事業報告

平成29年度におきましては、ほたるの里施設理念である「安心して、明るく個性豊かな環境の実現」を目標に、ユニットケアの特性を活かし、利用者の様々な希望に応えられる施設運営を目指して、この1年間事業を展開して参りました。

さらには、地域に根差した開かれた施設として、行政機関やボランティア団体等と職員間が一体となった連携を積極的に行ってきたところであります。

また、安定した施設経営を実現するためには、まず、不足する人材確保が最重要であるため、常時ハローワークなどに公募しながら職員の確保に努めてきたところであります。さらに、職員の資質及び技術の向上を図るために、外部研修に職員を積極的に参加させ、施設内においても年次計画に基づいた研修会を開催し、介護力のアップに努めてきたところであります。

次に、経営面では、経営の要となる特養事業においては、退所から新規入所までの空所期間の短縮を図るなどの受入体制を行ったため、昨年度と比較すると若干の上昇となっているが、全ユニット開所以降の稼働率で勘案すると、ほぼ横ばいの状況となったところであります。

短期入所事業においては、困難な事例や緊急的な受け入れを積極的に行い、さらには、定員を上回った場合には、空所利用を活用する対応を行ったため、目標を大幅に上回る稼働率となったところであります。

デイサービス事業においては、地域密着型サービスに移行し定員が増加したにもかかわらず、日に日に利用者が増加し、現在では、一部の曜日においては待機状態になっているところであり、目標を大幅に上回る稼働率となったところであります。

居宅支援事業においては、他事業所との競合などがありながらも利用者の確保に努めたところであるが、死亡や老健・特養施設への移行などで支援終了となったことにより、目標となる稼働率が達成できなかったところであります。

今後とも、健全な財政基盤と施設運営の安定を図るために、前年度の実績を堅持しながら、職員の人材確保、技術の向上、可能な介護加算要件の導入を図り、地域のニーズに応えられる施設としての事業を展開して参ります。

以下、事業別に詳細をご報告いたします。